

運賃改定は労働者の賃金・労働条件改善が目的

2月13日から16日まで 何でも労働相談

(岩手地本)

2012年2月13日から4日間、何でも労働相談を開く

岩手地本(森茂執行委員長)では組合員の協力のもとに2月13日から16日に掛けて連合岩手との連帯で行う「なんでも労働相談」の周知とともに組織拡大行動を県内で一斉に実施致しました。



行動期間は日中の気温もプラス1度から5度と比較的に暖かく、チラシ配布行動もスムーズに行う事が出来ました。地域の労働者からは運賃改定が行われれば安売り競争はなくなるのか。平泉の世界遺産登録になったらタクシーの待機所がなくすと言われています。

タクシーが多いので減車への取り組みを強化してほしいなどの意見と共に、賃金計算が解らない。有給休暇を取得しても賃金が目減りすると言った悩みが訴えられました。また、2月17日から19日の間午前10時から午後6時に行ったタクシー労働者「なんでも労働相談」では、盛岡市内のタクシー労働者から継続雇用の打ち切りの悩みや社内での労務問題などについて連合岩手の相談室で相談を受け、連合岩手の顧問弁護士とともに、解決策を伝授しました。



さらに、岩手地本が盛岡駅で配布したチラシを見たと言って電話相談が寄せられました。